

## 千葉県内の相撲部屋 (50音順 平成29年9月末)

部屋名	師匠 (現役名)	所在地	千葉県への 開設年	部屋 人数	人数内訳 (師匠以外)
あさひやま 朝日山	朝日山 宗功 (関脇 琴錦)	鎌ヶ谷市 くぬぎ山	平成28年	6	力士…5
おうのまつ 阿武松	阿武松 広生 (関脇 益荒雄)	習志野市 鷺沼	平成7年	20	年寄…2 力士…15 床山…2
さどがたけ 佐渡ヶ嶽	佐渡ヶ嶽 満宗 (関脇 琴ノ若)	松戸市 申崎南	平成6年	52	年寄…3 力士…41 行司…2 呼出…2 床山…2 若者頭…1
にしよのせき 二所ノ関	二所ノ関 六男 (大関 若嶋津)	船橋市 古作	平成2年(松ヶ根部屋) 平成26年(二所ノ関襲 名により部屋名を変更)	24	年寄…4 力士…13 行司…2 呼出…2 床山…2

**相撲部屋**  
日本には現在四十五の相撲部屋があり、千葉県には四部屋ある。年寄名跡を継承している年寄が師匠となり運営しており、力士は必ずどこかの部屋に所属しなければならぬ。力士にとっては、稽古とともに生活の場ともなっている。多くの部屋では朝六時頃から十時半頃まで稽古を行い、土俵を掃除し風呂に入ってから食事(ちゃんこ)となる。午後は昼寝や掃除のほか、トレーニングやリハビリ等の時間となる。夕食も当番で力士が作る。番付によって待遇が大きく変わる実力主義の世界である。



② 笹川相撲祭 平成29年 諏訪神社・東庄町笹川  
7月の最終土曜の諏訪神社の秋季祭礼に行われる奉納相撲。氏子である7つの地区が順に当番となって運営する。子供会の地区団体戦のほか、自衛隊や大相撲力士も招待され賑わいを見せている。

③ 笹川相撲優勝旗  
昭和4年(1929)  
東庄町観光協会蔵  
笹川諏訪神社の相撲は笹川場所とも言われ、その伝統と実績は東京の(財)大日本相撲協会からも高く評価され、白羽二重の優勝旗が贈られた。



④ 笹川小学校相撲体操 東庄町立笹川小学校  
全校の業間体操で相撲体操を取り入れており、校庭の土俵では、全児童による学年別相撲大会を、地域と連携して毎年開催している。

**相撲の町「東庄」**  
東庄では町の活性化に相撲が大きな役割を担っている。出羽海部屋の夏合宿や浪曲・講談で有名な任侠話である「天保水滸伝」の活用、小学校の相撲大会など、全て熱心な相撲ファンやNPO法人らが町と協力して実施してきた。町のあちこちで「相撲」の文字を見ることが出来る。



①「わが町に相撲がある」看板 東庄町笹川

4 千葉県の相撲 — まとめにかえて —  
千葉県各地で行われてきた相撲行事は、魔除けや盆行事、水の神との関わりなど、様々な要素が含まれていました。それらに江戸からの相撲興行の影響を受けながら、現在の形が作られてきました。中には、戦争や高度経済成長の時代に廃止となった所も多くありましたが、各地で今も相撲が引き継がれているのは、災いよけや豊作、安産などの願いが託されてきたからです。そこには新旧住民による地区の立て直しや、町の活性化などの新たな願いも託されています。つまり相撲は、私

たちの願いを受け入れて人や地域を元気にする力を持つているといえます。  
また、力士の持つ力強さは人々から尊ばれ、地鎮祭や節分などにも招かれます。力士に子供を抱いてももらったり、その大きな身体に触ったりするのも、特別な力を分けてもらえば丈夫になると考えられているからです。  
相撲巡業に見られる大相撲の強い人気や、地域の相撲に熱心に関わる人々がいるのは、そうした相撲が持つ特別な力に、惹かれるからなのでしょう。